

都心の高額物件、大幅減

上期のマンション供給 小型は堅調

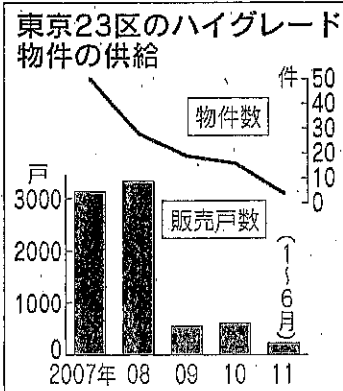
東京都区部で2011年上半期(1~6月)に供給された新築マンションのうち、平均価格800万円以上の高額物件は4件と昨年同期の16件から大幅に減少した。マンション関連コンサルテイングのトータルプレイン(東京・港)の調査で分かった。東日本大震災の発生で販売環境は厳し

推移を調べた。11年上半

期に販売された戸数は2

488万戸となったのを

数・販売戸数ともに増加



05戸のおよそ三分の1の水準。平均坪単価も426万円で、前年比35万円下落した。ハイグレード物件は、07年59平方メートルの「コンパクト」物件は08年以降、件数・販売戸数ともに増加傾向をたどった。11年上半期も71件、2149戸で前年の4割の水準で比較的堅調。同社は「特に都心部ではハイグレード物件の供給が鈍り、コンパクト物件にシフトする可能性が高い」と指摘。大京が3月、コンパクトマンション市場に参入するなどの動きがある。